

2025年度  
鉄道安全報告書



**上田電鉄株式会社**

ごあいさつ

上田電鉄の安全報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。

鉄道事業の運営にあたっては、お客さまに安心してご利用いただけるよう、日頃から安全を最優先に取り組んでおります。しかし、施設や車両の不具合、ヒューマンエラーのほか、昨今、甚大な被害をもたらす異常気象など様々なリスクがあり、安全を確保するためにはこのようリスクをしっかりと認識し対応していくことが重要であると考えております。

本報告書は、このような考え方にに基づき、より安全性を高めるための方針や施策を報告するものです。私どもは、鉄道をご利用のお客様や沿線にお住まいの皆様、加えて、従業員や協力企業の「安全・安心」を確保し、地域から信頼される鉄道を目指して取り組んでまいります。

本報告書をお読みいただき、お気づきの点やご感想などお寄せいただければ幸いです。

2025年10月

上田電鉄株式会社

代表取締役社長 依田 育也

## 1. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全・安心の確保です。「安全方針」「行動規範」を次のように掲げ、社長以下、従業員全員に周知・徹底しています。

#### 【安全方針】

「安全の確保」は、鉄道事業の最大かつ最重要のお客さまに対する責務である。

その安全は、役職員一人ひとりがルールの意義を認識しかつ遵守し、正則作業を確実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、役職員相互の双方向コミュニケーションをしっかりと行い、安全の障害となる問題を一体となって速やかに解決し、このお客さまに対する責務を誠実に果たし社会に貢献する。

#### 【行動規範】

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の遂行にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱をする。
- ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

### (2) 安全目標

区 分	目 標
鉄道運転事故（衝突・脱線・火災等の有責事故）	発生させない
インシデント（鉄道運転事故が発生する恐れのある事態）	発生させない

### (3) 重点施策

- ① 問題点の早期把握による安全対策の推進  
役職員相互の双方向コミュニケーションを活性化することにより、問題点を早期に把握し、迅速な対応を行う。
- ② 事故情報の確実な伝達と対策実施による再発防止  
自社および他社の事故情報を迅速、正確に職員に伝達し、必要な対策を速やかに実施する。また、過去の事故事例を踏まえ現在の状況を検証するとともに、必要により見直すことで同種事故の再発防止を図る。
- ③ 事故発生時の対応力向上  
事故想定訓練を定期的実施し、その結果の振り返りや反省点をもとに対応に反映させることにより、各職員の事故対応力の向上を図る。

④ 管理監督者による事故防止の取組み

管理監督者による添乗指導等、現場作業への立ち合い実施により、気付き等を直接指導することで技能の向上と事故防止を図る。

⑤ 安全管理体制を維持するために必要な教育・訓練

昨今の異常気象に対応するための規定改定も行ったことから、安全管理体制維持のための教育を各職場において実施し、安心安全な運行を維持する。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置（2024年度）

(1) 鉄道運転事故（踏切障害事故）

2024年度 鉄道運転事故は発生していません。

(2) 輸送障害（その他）

2024年度の発生状況（30分以上の遅延または運休本数）

項目	件数	概要
自然災害	0件	
設備車両故障等	2件	車両故障による運休12本、遅延4本
第三者による支障	2件	沿線樹木の線路支障、酔客の火災報知器押下 運休2本、遅延10本

(3) インシデント

国土交通省へ報告する、インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

国土交通省による行政指導等はありませんでした。

(5) その他再発防止対策

・自然災害対策

信号機器の落雷対策として、保安器の新設および機能性向上による保護水準の引き上げを、2024年度から5か年で計画的に実施する事としており、1年目の取り組みが完了しました。

3. 安全確保の取組み

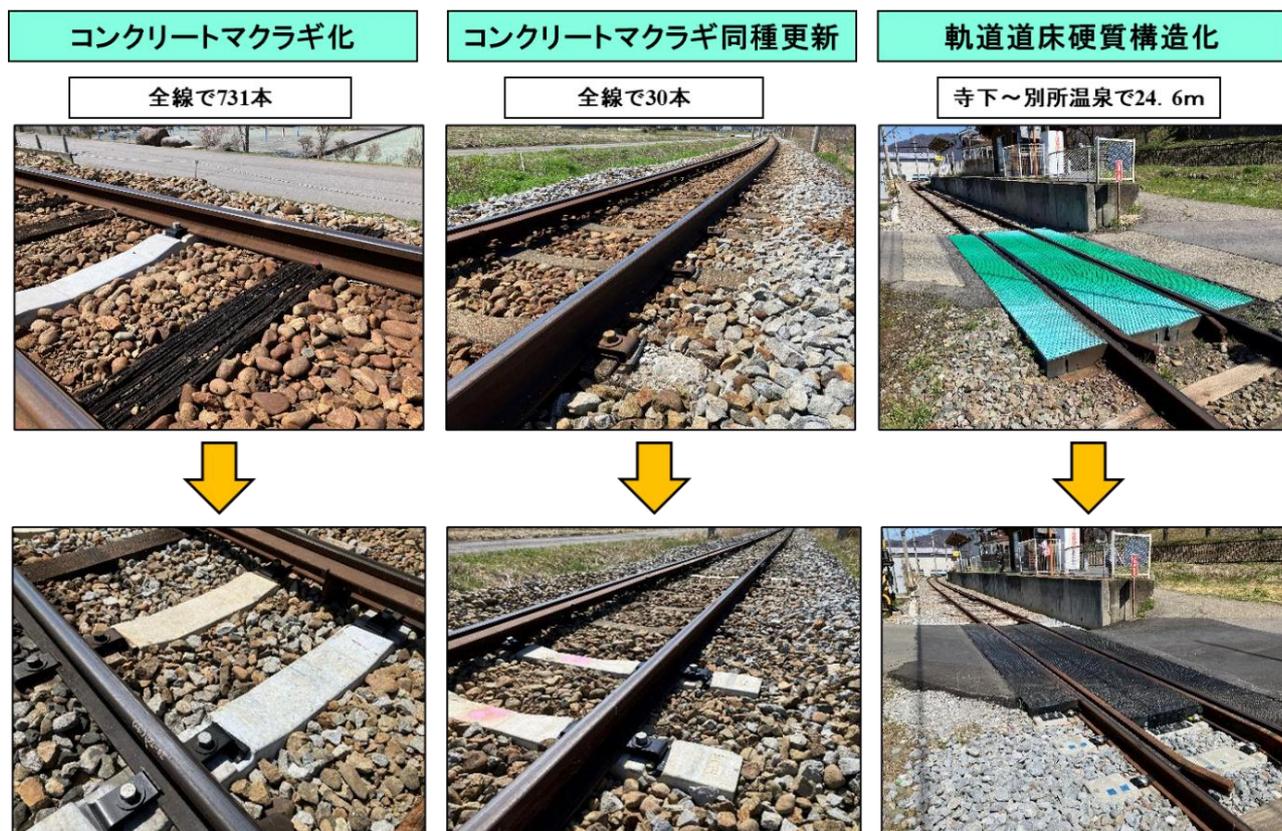
(1) 安全輸送対策工事

当社では安全安定輸送を継続するため、安全輸送対策に取り組んでいます。

## 2024 年度安全工事概要

項目	事業費 (千円)	概要
安全投資(主なもの)	149,685	
鉄道軌道安全輸送設備等(国・県・市 協調補助)	134,346	
PCマクラギ化	39,079	木マクラギをコンクリートマクラギへ更新(継ぎ目など一部は合成マクラギ)
PCマクラギ同種更新	1,725	劣化したPCマクラギを更新
軌道道床硬質構造化(道床交換)	18,712	道床路盤を硬質化(路盤改良)し、道床碎石の交換と踏切覆工板をゴムパネル化
橋りょう補修	11,060	劣化損傷した橋りょう沓座(桁を支える橋台部分)の補修
踏切保安設備更新	36,468	老朽化した踏切遮断機・警報機・制御装置を更新
インピーダンスボンド更新	8,239	帰線電流と信号電流を区分する装置の劣化交換および低濃度PCB処分
柱上変圧器更新	11,356	低濃度PCBが含まれる変圧器の交換およびPCB処分
車両定期検査	7,704	8年周期の車両全般検査
上田市安全対策事業(上田市単独補助)	15,339	
線路設備修繕工事	15,339	噴泥箇所其道床碎石の交換、軌道検査不良箇所の修繕工事

千円未満端数切り捨てのため、金額が合致しない場合があります



### 踏切保安装置更新

八木沢～別所温泉間で2か所



### インピーダンスボンド更新

全線で10台  
内、PCB処分1台



### 橋梁補修

神畑～中野間で2か所



### 柱上変圧器更新、PCB処分

八木沢～別所温泉間で15台



### 車両定期検査

1002編成(2両1編成)



## (2) 人材教育

- ・新規就業者には各部門担当が業務内容を指導し、鉄道係員とし必要な基礎知識を身につけられるよう教育を実施しています。
- ・運転、駅、技術の各職員には年間の教育訓練計画を基に教育を行っており、各会議体において知識の充実を図り、技能の維持向上に努めています。
- ・毎月、全職員を参加対象とする「業務研究会」を開催し、自社または他社の事故事例やインシデント、ヒヤリハット情報を共有するとともに、これらの原因・背景・対策を学ぶことで事故防止の要点を教育指導しています。

## (3) 異常時の訓練

事故発生を想定した列車防護訓練、代用閉そく方法の確認、列車脱線時に使用する脱線復旧機材の使用の確認を行いました。また、業務研究会において、普段は目にする機会のない特殊信号発光器の点灯目視体験をおこないました。



列車防護訓練の様子



特殊信号発光器の点灯目視体験

## (4) 安全推進会議（マネジメントレビュー）の開催

四半期ごとに安全推進会議を開催して、過去に発生した運転支障（輸送障害、踏切障害等）発生状況の再確認と原因・対策について振り返りを行い、対策内容の効果について検証ならびに確認を行っています。

(5) 輸送安全総点検

夏季および年末に、社長、安全統括管理者および役職員による安全総点検を実施しました。



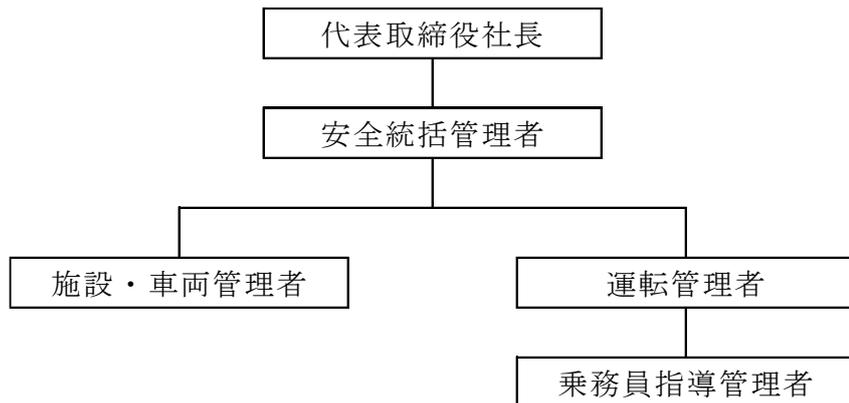
夏季および年末年始安全総点検

(6) 意見交換会等の開催

役職員相互のコミュニケーションを図るため、経営トップ・安全統括管理者・運転管理者が業務研究会へ参加し、職場環境の改善や安全意識の向上を図っています。

4. 当社の安全管理体制

代表取締役社長	輸送の安全に関する業務の最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
施設・車両管理者	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



5. 発行 2025年10月

6. 連絡先

上田電鉄株式会社 下之郷事務所

〒386-1211 長野県上田市下之郷 498

TEL 0268-39-7117 (平日 9時00分～17時00分)